

経営革新計画申請書の記載についての留意事項や作成ポイント

県ホームページに掲載している記載例やハンドブック等を参考のうえ作成されるとともに、以下事項についてもご留意ください。

● 別表1について

①「経営革新計画のテーマ」

- ・承認書のタイトルにもなるため、計画内容を分かりやすく表現してください
- ・テーマの下には、計画の概要と目標を簡潔に記載ください

②「経営革新の内容及び既存事業との相違点」

- ・次のような流れで記載してください

1. 経営革新計画の概要

(1) 企業概要並びに現状課題

(2) 現状打開策としての経営革新の取り組み

2. 取り組みの新規性

3. 取り組みによる新商品やサービス等の市場性

4. 事業展開

※詳細は2ページ目を参照

③「目標伸び率」

- ・【(計画終了年度の数字) — (直近期末の数字)】 / 直近期末の数字

※小数点以下2位を四捨五入すること

- ・承認要件の伸び率をクリアしているか確認したうえでご提出ください

※経常利益「年率1%以上の伸び率」

付加価値額又は一人当たりの付加価値額「年率3%以上の伸び率」

● 別表2について

- ・計画期間に応じた具体的な実施項目について、実施時期を四半期単位で落としてください。

※承認後のフォローアップ調査時に活用するため、できるだけ具体的な実施項目を記載してください

● 別表3について

- ・決算書等からの転記の際には、千円未満は四捨五入してください
- ・ここで記載された数字と別表1の伸び率はリンクします

● 別表3 補足資料について

- ・新規事業の売上見込みや、原価の積算根拠は明確に記載ください

別表 1 に記載いただくべき内容

確認事項		チェック欄
1 経営革新計画の概要		
(1) 企業概要並びに現状課題		
① 企業の概要	所在地、創業年、創業年数、業種	
② 現状課題	業界の特性、最近の業界の動向	
	自社の現在における経営上の強み	
	自社の現在における経営上の課題←(可能なかぎり記載してください)	
	将来、経営上の課題となってくる事柄	
(2) 現状打開策としての経営革新の取り組み		
	新商品やサービスの対象となる顧客像	
	上記の顧客像がいると見込まれる市場	
	新商品やサービスの内容	
2 取り組みの新規性		
(1) 当社としての新規性		
① 従来との違い	自社が従来、提供していた商品・サービスとの相違点	
② 独自性	市販の商品やサービスの利用にとどまらないという点	
(2) 他社も含めた地域における新規性		
3 事業展開		
① 当該計画の進め方	経営革新計画をどのように実行していくか、組織体制、取り組みの大まかな手順・方法	
② 当該計画を進める上で克服すべき課題解消策	経営革新計画を進めて行く上で、克服すべき課題(人員、組織体制、技術、財務等)	
	上記課題の解消策	